



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番
94.3.3 No. 3953

これ以上の要員合理化がよいか！

二月の『雪害』問題点(その二)

この間、幕張支部は二月二日、一二日の「二五年ぶりの大雪」時にあった問題点等について、全力で調査を行なっている。現在まで判明している問題点について現場の証言に基づき、本号で掲載する。

証言1・仕業検査

二月(2月)で二〇件以上の超勤

二月二・三日の雪害等、二月になってやたら仮眠時間に食い込んでの超過勤務が発生している。仕業や検査当直だけ見ても二月のそうした超勤発生件数は、二〇件以上となっている。検査当直などは、しん徹で列車運用を手伝う時もある。つまりこのことは、適正な要員配置が全くなされていない結果だ。また、一二・一三日は、雪のため、雪やつらだらだけの電車のため、雪やつらだらだけの電車の屋根の上に登り、パンタグラフや前面ガラスの雪かきに従事した。これも危険度が余りにも大きい。ポイントの雪かきも区総出であつたが、間に合わない

かった。これも要員不足しているせいだ。

証言2・成東旧派出への非常呼び出し

成東系出の廃止で問題山積

成東派出が廃止されてから一〇年近く経過するが、冬季の「霜害」による非常呼び出しが頻発している。月交替で成東の近くに自宅がある人たちが非常呼び出し要員として指定されている。この非常呼び出しも通勤災害や勤務時間の取り扱いに非常に関係する問題があるが、なによりも問題は、派出の廃止にある。過去、「霜害」対策として派出夜勤勤務が行なわれたこともあり、成東旧派出の復活が必要だ。また、佐原や佐倉の旧派出への非常呼び出しも行なわれているが、これも問題だ。早朝の呼び出しで作業服は自宅に置いてあつたとしても、ヘルメットや安全靴さえない。まして廃止された派出なので部品を交換しようにも部品も工具もない状態であり大問題だ。

証言3・外勤業務

当分の間は列車を動かすには十分な人員が確保できるか

年度末合理化で一名の削減が提案された。これは大問題だ。一名削減の根拠が全くわからない。今は、「通常作業」でさえ、作業ダイヤ通りの仕事もできない。二月一九日の「船橋の人身」事故もそうだが、一端列車が乱れてしまうと、結局深夜につけが我々に回ってくる。千葉支社は、まともに列車を動かす気があるのか。また業務をまともに運営するためには、これ以上の要員削減は許されない。

証言4・千葉派出

一二日の朝、雪のため交替が出動出来ず、明けの場面で超勤になった。四両の電車がモーター不良のため、幕張電車区の入区を要請したが、構内のポイントが雪で動かなくなっているとのことであつた。その後本区を訪ねた時、「雪害」要員は非常呼び出しで二〇名ほどいたという。区の体制に何らかの問題があつたのではないか。



反戦の告、三里塚へ
— 細川・小沢政権打倒 —

● 3月27日、正午
● 反対同盟、敷地内

※ 成田駅改札口、10:30

全国集会に集まろう